

学術講演会

私はなぜ三国志を研究 するにいたったか？

2017年9月2日（土） 12:30 開場 13:30 開演（16:00 終了予定）
会場：龍谷大学響都ホール（アバンティ京都9階、JR 京都駅南すぐ）



中国の歴史物語でありながら、〈三国志〉は、日本でも根強い人気があります。

その一方で、歴史研究や文学研究でテーマとして選ぶとすると、なぜかうまく行かない、という不思議な題材でもあります。

この講演会では、若手研究者二人をお招きし、「〈三国志〉を研究するに至った理由」をテーマにご講演いただきます。

二つの講演を通じて、〈三国志〉を研究する、ひいては学部生にとって「研究」ということが、どのような「意味」を持ちうるのか、ということを考えるヒントになれば幸いです。

人文学・社会科学・自然科学を問わず、学部学生を主たる対象としていますが、テーマに興味を持った方であれば、どなたでも歓迎いたします。

聴講無料。事前申し込みも不要です。

講師紹介（順不同）

総合司会：竹内真彦（龍谷大学経済学部教授）

佐藤大朗（さとうひろお、三国志学会会員）

1982年愛知県生まれ。大阪大学文学部人文学科（日本史学専攻）卒。会社員。

2007年、ホームページ「いつか書きたい『三国志』」公開。2011年より、三国志学会『三国志研究』に投稿開始。「袁術による皇帝即位の過程とその正統性」（第六号2011年）、「漢魏革命の固有性——「天子」の再定義と「禅譲」の創出——」（第九号2014年）、他3本。2015年、小説同人誌『曹丕八十歳』・『反反三国志』作成。<http://3guozhi.net/>

井口千雪（いのくちちゆき、九州大学人文科学研究院文学部門講師）

1986年広島県生まれ。2015年 京都府立大学大学院文学研究科博士後期課程修了。博士（文学）。

同年、『三国志演義』三系統の版本の継承関係—劉龍田本をてがかりに—（『東方学』127輯）およびこれに関連する研究活動で第34回東方学会賞を受賞。2017年4月より現職。著書に『三国志演義成立史の研究』（汲古書院、2016年）。

主催：三国志学会 <http://sangokushi.gakkaisv.org/index.html>

問い合わせは info@3594.info まで